# 開 会 あ い さ つ

広島大学経済学部長　阪 口　　要

皆様には日頃からお世話になっており、厚くお礼申しあげます。

さて、国立大学の法人化が来年４月から始まるということは、皆様ご承知のことと思います。あわせてもう一件、このセンターにも関係することですが、広島大学経済学部は学部組織から大学院組織に移行することがこのほど正式に決まりました。来年４月には、当センターも経済学部附属から大学院社会科学研究科附属に移行する予定です。

当センターの研究レベルは従来から相当なものであったと自負しておりますが、一方で研究が大学院レベルにシフトするとともに、他方で大学の法人化とも相まって当センターの活動に自由度が増大すると見込まれるなかで、当センターと地域との連携はますます重要になるだろうと思います。そういった意味で当センターの活動に今後ともご支援をいただきますようお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

# センター長あいさつ

地域経済システムセンター長　伊 藤 敏 安

本日は多数お集まりいただき、ありがとうございます。

今回の研究集会は、「地方からの変革と地域経済」というテーマを掲げております。このテーマに関連した記念講演の講師として竹内佐和子先生にお越しいただきました。お忙しいなか快くご協力をいだき、心から感謝申しあげます。

本日の後半部分では、広島大学による地域貢献研究の成果報告を行います。地域貢献研究というのは、地域の方々から提案を受けて大学の研究者が調査研究を行い、その成果を地域に還元・普及させることを目的として実施しているものです。私たちのセンターは、学内外の研究員・客員研究員と大学院生に呼びかけて、広島県、広島市、東広島市から提案のあった5件の課題について調査研究を行いました。

当センターは、今後ともこういった地域との連携活動をさらに充実させていきたいと考えております。ただし、地域貢献研究という名称のせいもあるのでしょうが、これはまったくの地域貢献活動なのか、あるいは将来的に市場形成を図っていきたいのかどうかといったことを大学の側はまだ明確に打ち出せないでいます。しかし、大学の法人化とともに、このあたりの状況も変化してくるものと思われます。

記念講演の講師である竹内先生については、国の地方分権改革推進会議や税制調査会の委員としてご活躍中であり、皆様よくご存じだろうと思います。先生は東京大学のMOT担当教官である同時に、投資工学センターという株式会社を経営されています。先生には「産業技術の変化と日本再生」というご講演をしていただきますが、おそらく単なる地域貢献というより、大学とビジネスとのかかわりに関するお話も出てくるのではないかと期待されます。

明日は中国・四国地域のシンクタンク関係者による調査研究報告があります。引き続き明日もご参加いだきますようお願いして、歓迎のご挨拶とさせていただきます。